

## 流域治水を自分事として理解してもらうための取組を検討します ～流域治水に主体的に取り組む住民や民間企業等を拡大していくため、検討会を開催～

住民や民間企業等のあらゆる関係者が、流域治水の取組を持続的・効果的に進めるための普及施策について検討する、「水害リスクを自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす流域治水の自分事化検討会（第1回）」を4月28日（金）に開催します。

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化に適応していくため、国土交通省では、流域のあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う「流域治水」の取組を推進しております。

しかしながら、一般には「流域治水」という言葉の認知度は決して高い状況になく、そのような中で水害は毎年のように発生し、避難の遅れなどにより犠牲者が発生している状況です。

水害から命を守り、被害を最小化するためには、人々の意識に働きかけ、水害の恐ろしさや流域治水の取組を知り、自分事として理解し、行動に移すなど、流域治水に主体的に取り組む住民や民間企業等を拡大していく必要があります。

以上を踏まえ、住民や民間企業等のあらゆる関係者が、流域治水の取組を持続的・効果的に進めるための普及施策について検討する、「水害リスクを自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす流域治水の自分事化検討会」を開催します。

### ■ 開催概要

- (1) 日時 : 令和5年4月28日(金)10:00～12:00
- (2) 開催方法 : 合同庁舎3号館1階A会議室およびWeb会議併用
- (3) 委員等 : 別紙のとおり
- (4) 議題 :
  - ・ 流域治水の自分事化に向けた論点整理
  - ・ 取組事例紹介
  - ・ 今後の進め方について
- (5) 取材等
  - ・ 本検討会はWEB上でのみ傍聴が可能です。回線容量の都合上、傍聴の接続は1人・1社（団体）につき1回線とさせていただきます。
  - ・ WEBでの傍聴を希望される方は、4月27日（木）12:00までに以下のとおりメールにてご連絡ください。 期日までにご連絡いただいた方にWEB会議傍聴用URLおよび会議資料を送付します。
    - 件名：【WEB傍聴希望】（第1回）流域治水の自分事化検討会
    - 本文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先（電話番号、メールアドレス）
    - 送付先：hqt-ryuiki-chisui\_wagakotoka■gxb.mlit.go.jp（■を@に置き換えてください。）
  - ・ 資料及び議事要旨は、後日国土交通省ウェブサイトに掲載する予定です。

【問い合わせ先】 国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 山本、磯邊  
TEL: 03-5253-8111(内線 35382、35393)、03-5253-8443(直通)

# 水害リスクを自分事化し、流域治水に取り組む主体を 増やす流域治水の自分事化検討会 委員名簿

## 委員

伊東 香織	岡山県 倉敷市長
今若 靖男	全国地方新聞社連合会 会長 (山陰中央新報社 取締役東京支社長)
加藤 孝明	東京大学生産技術研究所 教授
小池 俊雄	国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター長
河野 まゆ子	株式会社 J T B 総合研究所 執行役員 地域交流共創部長
指出 一正	株式会社 sotokoto online 代表取締役
佐藤 健司	東京海上日動火災保険株式会社 公務開発部 次長
佐藤 翔輔	東北大学災害科学国際研究所 准教授
下道 衛	野村不動産投資顧問株式会社 執行役員 運用企画部長
知花 武佳	政策研究大学院大学 教授
中村 公人	京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻 教授
松本 真由美	東京大学教養学部附属教養教育高度化機構 客員准教授
矢守 克也	京都大学防災研究所 教授
吉田 丈人	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

(敬称略、五十音順)